

都留重人メモリアルコーナー 2016 アンコール展示

都留重人の戦争



会期：平成 28 年 7 月 20 日 - 8 月 31 日
(但し、8 月 11 日 - 8 月 16 日は休室)

一橋大学経済研究所資料室 月 - 金 9:00-17:00

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/library>



都留重人メモリアルコーナー 2016アンコール展示

都留重人の戦争

1931年に父の勧めで渡米した都留重人は、ハーバード大学で博士号を取得し、講師を務めるまでになっていましたが、1941年12月8日の真珠湾攻撃によって太平洋戦争が始まると、祖国の敗戦を予測して帰国を決意します。

今年度は、渡米から開戦そして第一次日米交換船で帰国するまでを、好評を博した2015年「戦後70年記念展示」から関連資料を集めご紹介いたします。



『引揚日記』1942

—都留重人名誉教授寄贈資料について—

都留重人名誉教授(1912-2006)は、1949年に経済研究所所長に就任し、1956年までの4期及び1965-67年に所長を歴任しました。所長時代に定めた研究所の基本方針は、その後の研究所及び資料室の礎となり、コレクションの特色を成しています。このような経緯から、2003年秋に都留教授から手稿・書簡を含む膨大な資料が研究所に寄贈されました。

一橋大学 経済研究所資料室

〒186-8603 東京都国立市中 2-1
TEL 042-580-8320 / FAX 042-580-8319
<http://www.ier.hit-u.ac.jp/library>



表面：都留重人肖像写真 1931年